

2021年度仁愛大学入学者選抜の見直しに係る基本方針（予告）第2報

高大接続改革の策定（2017年7月13日 文部科学省）に伴い、2021年度以降の大学入学者選抜は「学力の3要素」を多面的・総合的に評価するための新たなルール適用下で実施されます。

それに基づき仁愛大学では、2021年度入学者選抜試験（2020年度実施）の基本方針を、以下のとおり策定しました。

【2021年度入学者選抜基本方針】

●全ての入試区分 [前回の公表通り]

- ・志願者の「学力の3要素」を入学者受け入れ方針に基づいて多面的・総合的に評価します。
- ・入学者受け入れの方針に基づく「学力の3要素」の評価には「調査書・志望理由書」さらに本人が記載する高校3年間の活動報告書（仮）（「主体性」「多様性」「協働性」に関する経験を記入）を活用します。

(1) 「大学入学者共通テスト（旧センター試験）の活用方法について [更新]

- ・従来の「センター試験利用入試」に代わり、「大学入学共通テスト」の成績を利用した入試区分を設定します。成績を利用するにあたっては、マークセンス方式に加え記述式問題も評価の対象とします。
- ・英語においては、「大学入学共通テスト」の成績（リスニングの成績は含めない）と民間試験の成績を併用します。（具体的活用方法については検討中です）
- ・2021年度入試は大学入試英語成績提供システムを利用し、出願の要件として利用します。2回の成績の活用方法については、CEFRの段階やスコアの良い方の成績を活用します。活用の詳細については決定次第公表していきます。[追加]
- ・活用予定の資格・検定試験について、下記の試験を対象とします。[追加]
1.ケンブリッジ英語 2.実用英語技能検定 3.GTEC 4.IELTS
5.TEAP 6.TEAP CBT 7.TOEFL iBT

(2) 本学が実施する個別試験について [前回の公表通り]

- ・記述式問題の導入について
大学独自の入試では記述式問題を導入しません。その代わり、全入試区分において志望理由書の提出を出願要件とします。
- ・英語資格・検定試験の活用について
大学独自の入試では英語資格・検定試験の活用はしません。
従来通り、マークセンス方式（化学・生物は記述式）の入試とします。

- ・出願要件として、Web 出願時に「主体性」「多様性」「協働性」に関する経験を記入していただきます。

※入学後の各学科での学生調査データに活用するもので、入試においては合否の判断材料としては扱いません。